

胎内シネマパラダイス

— 令和7年度 優秀映画鑑賞推進事業 — 「名作映画上映会」

日本映画史を代表するスターで、監督として手掛けた作品も近年世界的注目を集める田中絹代の主演作と監督作を紹介いたします。

上映予定時間

7月18日(金)

①恋文	9:15 ~ 10:52
②西鶴一代女	11:00 ~ 13:16
③乳房よ永遠なれ	14:00 ~ 15:50
④簪	16:00 ~ 17:10

7月19日(土)

①簪	9:15 ~ 10:25
②乳房よ永遠なれ	10:35 ~ 12:25
③西鶴一代女	13:10 ~ 15:26
④恋文	15:35 ~ 17:12



かんざし

「**簪**」 1941年 松竹(大船) / 70分 / 清水宏 監督

【出演】田中絹代、笠智衆、斎藤達雄 ほか

井伏鱒二の短編を清水宏が映画化。山梨・下部温泉を舞台に、愛人生活を送る恵美(田中絹代)が傷病兵・納村(笠智衆)との交流を通じて人生を見つめ直す。戦時下の現実と温泉地の穏やかな空気が交差し、個性的な宿泊客との関わりを温かく描く。田中絹代の繊細な演技が光る清水監督の代表作。

さいかくいちだいおんな

「**西鶴一代女**」 1952年 新東宝=児井プロ / 136分 / 溝口健二 監督

【出演】田中絹代、山根寿子、三船敏郎 ほか

井原西鶴『好色一代女』を溝口健二が映画化。男性中心社会に翻弄される女性の人生を冷静な視点で描く。田中絹代が主人公の一生を演じ、ヴェネチア国際映画祭で国際賞を受賞。海外では「お春の一生」として紹介され、溝口監督の名を世界に広めた。



こいぶみ

「**恋文**」 1953年 新東宝 / 97分 / 田中絹代 監督

【出演】森雅之、久我美子、宇野重吉 ほか

戦後、恋文代筆業をしながら想い人・道子を捜す礼吉(森雅之)を描いた、田中絹代の監督デビュー作。戦後の役柄の変化と1949年の訪米経験を経て、自らの思想を映画で表現し監督を志す。成瀬巳喜男の現場で助監督を務め、本作で戦後の女性だけでなく、過去に生きる男・礼吉の姿を哀切に描いた。入江たか子らのカメオ出演も見どころ。

ちぶさ えいえん

「**乳房よ永遠なれ**」 1955年 日活 / 110分 / 田中絹代 監督

【出演】月丘夢路、森雅之、杉葉子 ほか

夭折の歌人・中城ふみ子の歌集に感銘を受けた田中絹代が監督第3作を手掛ける。短歌に情熱を注ぐふみ子(月丘夢路)は乳がんに悩みつづ、夫との不和で実家に戻る。田中澄江の脚本で、女性同士の繋がりや表現者の苦悩を繊細に描いた本作は、月丘の葛藤を見事に表現。田中監督の代表作となり、現在世界的に注目を集めている。



● 入場料：500円(2日間通し券、全席自由) ※ 6月17日(火)発売開始

● 取扱所：産業文化会館

● 会場：産業文化会館 多目的ホール

● 問合せ：産業文化会館 ☎ 43・6400

● 主催：胎内市教育委員会 / 国立映画アーカイブ

● 特別協力：文化庁 / (一社)日本映画製作者連盟 / 全国興行生活衛生同業組合連合会 / 松竹(株) / 東宝(株) / 東映(株) / (株) KADOKAWA

